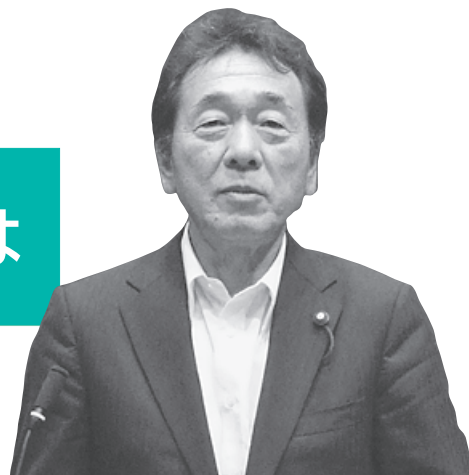


質問

世界農業遺産の取組状況は

町長

現地調査後認定の可否が決定



北村 千寿 議員

質問 世界農業遺産の取組状況はどの段階か。

町長 7月22日、認定機関の国連食糧農業機関（FAO）委員による現地調査が行われる。その後、認定の可否が決定する。

再質問 現地調査まで行われた場合の認定率は。

町長 農業振興課長 現地調査をして認定に至らなかったケースはこれまでにはない。

質問 世界農業遺産が認定されればどのような取組を行う予定か。



鉄穴流し跡の棚田

町長 農業の振興、観光の振興、教育、文化の振興など、これまで以上の取組を考えていく。

再質問 認定後、滞在型の観光振興を図るうえで、鳥上小学校校庭にあるたたら体験学習施設を利用したらどうか。

町長 認定されれば、たたら体験施設、農業体験も含めて滞在型の観光振興を進める。

質問 たたら体験学習施設が定期的に使用できれば、現地事務所として鳥上小学校の校舎の活用も考えられるのでは。

町長 課題はあるが活用の一つとして検討する。

質問 世界農業遺産となった場所について、観光客を誘致するための整備等が必要ではないか。

質問 町の組織表に名前を記載しないのもカスハラ対策、このほかにやっている対策は。

町長 庁舎内への掲示によりカスハラ抑止のお願いをしている。町を挙げて毅然とした対応を行う。

再質問 今議会初日の明許繰越しに録音機能の電話の予算が計上されていたが、これもカスハラ対策か。

町長 その面もある。

※カスタマーハラスメント（カスハラ）

町長 受入れ体制や環境の整備、行政のみでの対応は困難。地域や関係者の協力連携が必要。できることから進める。

再質問 カスハラの抑止力のために防犯カメラを設置してはどうか。

町長 職員の意見も聞きながら検討する。



庁舎内に防犯カメラを

※カスハラ

企業や役所に対して理不尽なクレーム、言動をすること。

その他の質問

認定ことも園健康経営